



ひきこもり相談のご案内

NPO法人 福岡不登校・ひきこもり支援研究会 ポルタ

NPO法人福岡不登校・ひきこもり研究会 ポルタは、不登校・ひきこもりのご本人、ご家族の方々などが抱えておられる「生きづらさ」に寄り添い、親身なサポートを提供することを目的として設立しました。

私たちは、長年の不登校・ひきこもり支援の経験を通して、不登校やひきこもりを解決すべき問題として捉えるのではなく、ご本人やご家族が「自分らしさ」を発見し「豊かな」人生を歩むための準備期間として捉えることが大切であるという信念に辿り着き実践しています。会の愛称である「ポルタ」は、イタリア語で「扉」や「入口」という意味があります。不登校やひきこもり 体験を通して、新たな人生への扉を開くという願いを込め、心から寄り添った支援を行います。



令和 8 年 7 月より

ご相談無料

要予約

ポルタへの相談が、**宇美町**でもできるようになりました

ポルタと宇美町が連携協定を結び、博多相談室に加え、新たに「宇美相談室」（宇美町働く婦人の家し〜ず・うみ）でもご相談を行えるようになりました。しかも、ポルタの相談室での相談はどこでも無料となります。博多相談室の他、ポルタで行う相談は、お住まいの地域、ご利用者の年齢などの制限は原則ありませんが、宇美町在住の小中学生の不登校のご相談については、宇美町学校教育課(092-934-2245)へお問い合わせください。

ご予約は、「WAMカウンセリング予約ページ」、電話、メール、LINE公式サイト等でお受けしています。下記二次元コードからどうぞ。



独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

この取り組みは、令和 7 年度（補正予算）独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業（WAM助成事業）に採択された本法人の「不登校・ひきこもりに対する都市圏横断・重層的支援体制の構築」事業として、実施しております。

し〜ず・うみ
ご案内

WAMカウ
セリング予約



福岡不登校・ひきこもり支援研究会ポルタ代表理事 稲田 尚史

博士(医学) 公認心理師 臨床心理士

北海道大学大学院文学研究科博士課程中退

38年の大学教員生活を経て、九州産業大学臨床心理学科教授を令和7年3月定年退職。退職を機にNPO法人福岡不登校・ひきこもり支援研究会ポルタを立ち上げ、代表理事を務める。病院での心理臨床、小中高校のスクールカウンセラー、福岡市思春期ひきこもり地域支援センター「ワンド」での家族支援など、豊富な臨床経験を持つ。



ご予約はお電話や
ホームページから



福岡ポルタ 予約

LINE公式で
登録・予約



検索

福岡市博多区博多駅前 4丁目13-27 グ
ランドハイツ博多

電話 080-4743-2956

npoporta@fukuokaporta.org



NPO法人
福岡不登校・ひきこもり支援研究会
ポルタ



カウンセリング

不登校、ひきこもりのお子さんへの対応がわからない、将来が不安であるなど、今までなかなか相談したくてもできなかったこと、あきらめていたことなど、お気軽にご相談ください。家庭の安定はお子さんの安定に繋がります。家族関係の悩みや、発達に課題のあるお子さん、中高年のひきこもりの方についてもご相談を受け付けています。必要に応じて、学校、医療機関や他の支援機関と連携して対応を行います。

親の会

毎回、不登校・ひきこもり、家族関係などに関する様々な情報提供を相談員が30分程度行った後、相談員も交えご家族間で交流会を行います。これまでの経験や直面している問題について共有することで、連帯感と安心感を得ることができます。自由な雰囲気でも語り合いますので、話すのが苦手な方は、聞くだけでも大丈夫です。他の相談拠点を含め、毎月開催しています。お気軽にご参加ください。

開室予定

宇美相談室

(月1回月曜日、10月・1月は木曜日)

7/13、8/10、9/14、10/22

11/9、12/14、1/21、2/8、3/15

相談時間：9:00～15:50の間、1回50分

博多相談室は土日を含み月10日程度、その他の相談室も月1日開室していますので、そちらもご利用になれます。

宇美親の会

9/12(土) 2/6(土)

13:00～15:00

※予定は変更になることがあります。

最新の情報は、ホームページでご確認ください。ご覧にならない方はお電話でお問い合わせください。

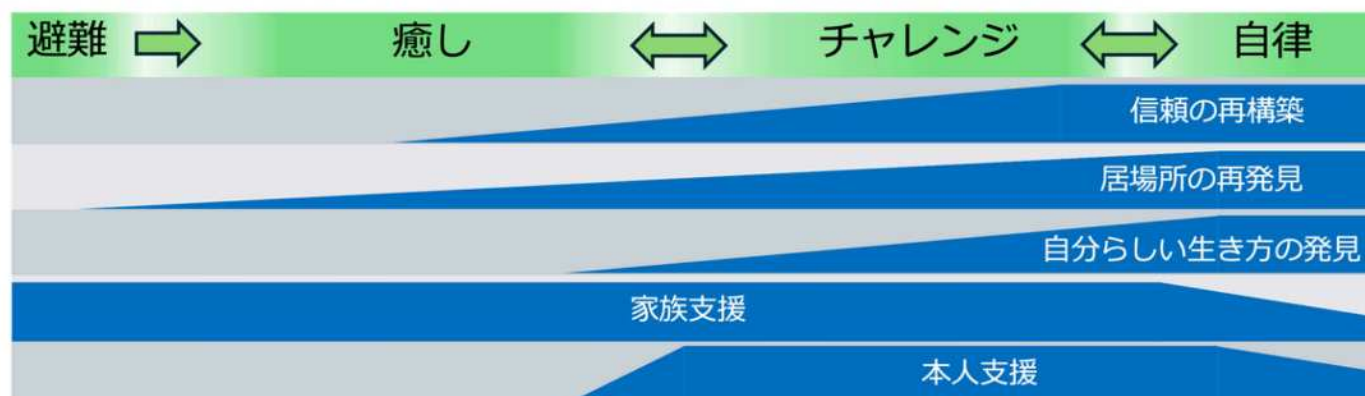
不登校・ひきこもりの段階とポルタの支援

ポルタでは、不登校やひきこもりのほとんどは「傷つき体験」を繰り返し、深い傷を負って、人や社会への「信頼」と「関わりへの自信」をなくしたことにより始まると考えています。つまり、不登校やひきこもりは、家から出られなくなった時に始まったのではなく、そのずっと前から「傷つき」が始まっていて、傷つくことから「避難」するために自室にこもっているのです。この段階では、さらなる「傷つき」を避け、身近な家族との信頼関係を取り戻しながら、傷を「癒す」ことが重要です。

しかし、傷を癒すには相応の時間がかかるため、どうしても先を急ぎ、さらに傷を深めてしまうことになりがちです。この時、できるだけ早い時点で信頼できる支援者からの家族への支えを得ることが必要になります。そうすることによって、本人も家族も不安な気持ちを和らげながら、それぞれへの「信頼」や「関わりへの自信」を少しずつ回復し、家庭を「居場所」とすることができるようになります。

不登校・ひきこもりの本人と家族が、家庭を安全な居場所にする中で、「自分らしい生き方」を考える余裕が生まれ、家族以外への「信頼」と「関わりへの自信」を見出すことができるようになります。ここで、私たち支援者は初めて不登校・ひきこもりの本人と関わるすることができます。それが社会との新たな関係構築の第一歩となって、「自分らしい生き方」の発見へと繋がっていきます。

私たちポルタは、不登校やひきこもりの本人や家族が「豊かに」不登校・ひきこもりの期間を過ごし、「自分らしい生き方」を発見できるよう、初期の段階から自律まで一貫した支援をお届けします。



特定非営利活動法人
福岡不登校・ひきこもり支援研究会
ポルタ



独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業